



弘亜社が、タイ・バンコクでの 駅ナカビジネスに着手

交通広告・屋外広告会社の株式会社 弘亜社（本社：東京都銀座 6-12-1、社長：大村 寿一郎）と、タイ・バンコクの広告会社・365 社との合併会社「弘亜社メディア(タイランド)」(資本金：5,000 万バーツ、代表：大村 寿一郎、)は、昨年 9 月に、バンコクの空港から市内主要駅をつなぐバンコク空港鉄道(エアポートレールリンク = ARL)における車両及び各駅の広告管理運営権(契約期間 10 年間)を獲得し、広告販売を行っております。

今回さらに、タイ国際空港地下に隣接するスワンナプーム空港駅含む、エアポートレールリンク全駅(8 駅)構内での商業スペース独占販売事業権(契約期間 10 年間)を入札の末、2012 年 8 月 15 日に正式に獲得しました。

商業スペースは、エアポートレールリンク全 8 駅で約 5,790 m²あり、スワンナプーム空港駅が約 2,790 m²と大半を占め、次いでタイ航空のチェックイン設備を持つマッカサン駅が約 2,200 m²となっています。また起点駅のパヤタイ駅の BTS パヤタイ駅連結部陸橋などもその中に含まれています。

各 8 駅の駅ナカビジネスとして、ショップ設営、テナント誘致を一貫して行う予定です。テナントは、銀行(両替カウンター含む)・飲食店・コンビニエンスストア・書店・携帯ショップ・衣料品店・雑貨店・高級ブランド中古販売買い取り店・ドラッグストア等を想定。バンコクではオフィスビル内・駅内に必ずと言っていいほど小型ショップが軒を連ねています。それだけ日常とショッピングが密接な関係にあるタイでは「ショッピングは平日するものである」とも言われています。

地下鉄駅との接続駅でもあり、シティエアターミナルであるマッカサン駅付近はマッカサン・コンプレックスと呼ばれるタイ政府による超巨大エリア〔約 500 ライ(約 800,000 m²)〕での再開発予定地であり、数年後にはホテル・エキシビジョンセンター・ショッピングセンターなどが建設予定で、このエリア自体が活性化する事が容易に予想できます。

この近辺は、元々はタイ国鉄所有の操車場・基地等のエリアであり、日本で同様に国鉄の操車場跡地から近代でビジネスタウン・ショッピングタウンとして飛躍的に変貌した品川・汐留などと同様の発展・賑わいが期待されています。



マッカサン駅周辺に広がる広大な緑地帯。千代田千代田にベッブリー通り



また、スワンナプーム空港駅では、航空会社、旅行会社、クーリエ会社などがサービスカウンターを設置したいと、数社が出店を検討しています。

「弘亜社メディア(タイランド)」は、10年の契約期間で、初年度3000万パーツ(約7800万円)の売り上げをめざしています。

一方、エアポートレールリンクの広告事業は、2012年年初の広告募集開始以来、順調に展開されており、タイ・日本の有名企業や、タイ国で人気のTV番組の番組宣伝などが展開されています。特に全日空・H.I.S・タイAIR ASIAが車体の全面ラッピング広告を実施、またタイの飲料メーカー「OISHI」グループが日本のアニメ「ワンピース」をキャラクターに使用した車内ジャック広告を掲出。乗客が写真・ムービーを撮影する姿が恒例となっています。

今後、広告活動と商業事業をリンクした展開なども十分に考えられます。

<エアポートレールリンク>

タイ国鉄が運営。バンコク・スワンナプーム国際空港とバンコク市内パヤタイ駅を結ぶ高架式高速鉄道として2010年8月23日に開業。路線距離28.6km、8つの駅からなり、シティエアターミナルであるマッカサン駅にてMRT(バンコク都地下鉄)と、終点のパヤタイ駅でバンコク市内のBTS(スカイトレイン=高架鉄道)と接続する重要路線であり、空港利用者のみならず新興住宅地や大学施設などが多い沿線駅では通勤時にはラッシュ状態となっている。エクスプレスライン(快速)とシティライン(各駅停車)の2つがある。

今後、北はドンムアン空港、南はリゾート地のパタヤ、さらにラヨン・ウタパオ空港までの延伸建設が計画され、空港間を結ぶ重要な鉄道として期待されている。

<エアポートレールリンク8駅>

- ・スワンナプーム空港駅 ・ラカバン駅 ・バンタブチャン駅 ・ラムカムヘン駅
- ・フアマーク駅 ・マッカサン駅 ・ラチャプラロップ駅 ・パヤタイ駅

弘亜社 会社概要

商 号 / 株式会社 弘 亜 社

創 立 / 昭和 13 年 2 月

代 表 者 / 代表取締役社長 大村 寿一郎

資 本 金 / 8,000 万円

取 引 銀 行 / 三菱東京 UFJ 銀行、三菱 UFJ 信託銀行、みずほ銀行

本社所在地 / 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-12-1 第 2 寿ビル

TEL 03-3571-5641 (代) FAX 03-3571-9369

大阪支社、名古屋支社

弘亜社インターナショナル(タイ・バンコク)

合弁会社 弘亜社メディア(タイランド) (タイ・バンコク)

弘亜社 会社沿革

1938 年 現在の東京都中央区銀座 1-9-7 に広告代理業「朝日プラン」を創立

1940 年 社名を「弘亜社」と改称

1949 年 法人組織に改め「株式会社 弘亜社」となる

1952 年 大阪営業所開設 1971 年 大阪支社と改称

1953 年 名古屋営業所開設 1988 年 名古屋支社と改称

1953 年 本社を東京都中央区銀座 7-2-16 に移転

1965 年 本社を東京都中央区銀座 5-9-11 (緑ビル) に移転

1994 年 本社を東京都中央区銀座 6-12-1 (第 2 寿ビル) に移転、現在に至る

2010 年 6 月 タイ・バンコクで弘亜社インターナショナルを開業

2011 年 9 月 タイ・バンコクで合弁会社弘亜社メディア(タイランド)を設立

以上についてのお問合せ先

株式会社 弘 亜 社

担当：海外本部 糸魚川 mitoigawa@koasha.co.jp

電話：03-3571-5641 (代) FAX 03-3571-9369

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-12-1 第 2 寿ビル